

2.29 PDA群馬高校生即興型英語ディベート交流大会 2019

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

開催日時：2019年10月19日(土) 9:45-16:00

会場：群馬県立前橋高等学校

参加校：3校(群馬県立前橋高等学校、群馬県立前橋女子高等学校、群馬県立高崎女子高等学校)

参加者：生徒26名、教員5名

スタッフ：PDAスタッフ、PDA教育認定ジャッジ・神奈川県立相模原高等学校教諭、東京農工大学、九州大学

主催：一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

助成：公益財団法人 日本財団、公益財団法人 KDDI財団

開会式では、会場校である前橋高校の大栗校長先生より、「群馬で初めての即興型英語ディベート大会だと思います。これまで培ってきた経験などを発揮できるよう頑張ってください。」とエールが述べられました。次に、参加校である前橋女子高校の戸塚校長先生より、「ディベートではメモをした紙を見てスピーチをすることがありますが、今日は即興型ですので、自分の言葉でスピーチできるように頑張ってください。」と激励のお言葉を英語でいただきました。次に、PDAより、参加学校紹介、ルールの復習、POIの確認を行いました。その後、メモをとりながらモデルディベートを見学し、ディベートの雰囲気を確認したあと、他校の生徒とチームを組んで行うミックスディベートの対戦表が発表されました。



大栗校長先生のご挨拶



戸塚校長先生のご挨拶



← ルール説明
モデルディベートをメモ
を取りながら聞いています



ミックスディベートのお題は「**Single-sex schools are better than co-educational schools. (共学より男子校または女子校のほうがよい。)**」でした。今日が即興型の英語ディベートは初めてだという生徒も多い中、ミックスディベートでは、初めて顔を合わせた他校の生徒とチームを組み、ディベートを行います。今回の参加校は全て男子校・女子校ということもあり、共学での学校生活を想像しながらディベートを行いました。自らが体験したことのないことについても想像力を持つと試みる点もディベートの魅力のひとつです。ディベートが始まると男女間のコミュニケーションや相互理解など様々な観点からディベートが行われました。



チームメイトとの準備時間



POI（質疑応答）にチャレンジ



ディベート後は握手で健闘をたたえ合います



認定教育ジャッジの先生によるフィードバック

次はいよいよ表彰の対象となるラウンドの始まりです。第1ラウンドのお題は「**Japan should have nuclear weapon. (日本は核兵器を保有すべきである。)**」でした。唯一の被爆国である日本の責任や、国際関係上の抑止力など、幅広い視点でディベートが展開されました。ディベートが終わるとお互いにもっとどのようなことを言いたかったか、伝えたかったかなどの意見交換が行われるテーブルもありました。ディベートが終わると、ジャッジの先生より、効果的なPOIの仕方や、反論の仕方、論題を見てどのように話すべきことを考えぬくのかというコツについて指導がありました。



チームメイトとアイデアを出します



活発な POI の応酬が繰り広げられています



オンラインで遠方のジャッジからコメント



フィードバックのメモを取ります

お昼休憩では、他校の生徒と交流をしながら昼食をとりました。ミックスディベートの話や、第1ラウンドの論題について意見交換をしたり、普段の学校生活の話をしたり、交流の時間となりました。



みんなでお話ししながら昼食をとりました

昼食を終えると、続く第2ラウンドのお題は、「*Term-exam should be abolished.* (定期テストを廃止するべきである。)」でした。定期テストという身近なテーマに、生徒たちは論題を見た瞬間にあっと声をあげました。ディベートが始まると、定期テストがあるほうが学力定着にはいいのか、あまり変わらないのか、といった論点だけでなく、生徒がプログラミングなど学校の授業とは別に学びたいことの勉強する時間の確保など、様々な意見が飛び交いました。



堂々とスピーチ



コメントを真剣に聞いています

次に、ジャッジから「もう一度ディベートを見たい！」と推薦された生徒によるエキシビジョンディベートです。お題は「*The retirement system for teachers should be abolished.* (教員の定年制を廃止すべきである。)」でした。今大会で初めて会う他校の生徒と一緒にチームを組み、準備時間にはしっかりと意見交換をしました。現在の日本が直面している教員不足の問題や教育の質、今後の教育のあり方など、熱いディベートが繰り広げられました。POIも交わされ、積極的に意見を発信しました。オーディエンスの生徒はフローシートにディベートのメモを取りながら、ジャッジの練習を行いました。



聴衆の前でマイクを持ってスピーチ



勝敗を考えながらメモを取ります

エキシビジョンディベートが終わると、チェアを務めた先生より講評がありました。勝敗は、生徒たちの投票でOpposition（否定側）の勝ちとなりました。会場から健闘をたたえ、両チームへ大きな拍手が送られました。

閉会式では表彰式の後、エキシビジョンディベートでディベートを行った生徒よりコメントをいただき、PDA 群馬交流大会 2019 の幕が閉じました。

【表彰】

〈エキシビジョンディベータ賞〉

- PM 清水さん (高崎女子)
- LO 滝沢さん (前橋女子)
- MG 佐藤さん (前橋)
- MO 中村さん (前橋)
- LOR 柳さん (前橋女子)
- PMR 新保さん (前橋)



〈チーム賞〉

- 1位：前橋 A
- 2位：前橋 B
- 3位：前橋女子 A



〈ベストディベータ賞〉

中村さん（前橋 A）、曾根さん（前橋 A）、佐藤さん（前橋 B）、諸田さん（前橋 C）、
吉田さん（前橋女子 A）、今泉さん（前橋女子 A）、徳永さん（前橋女子 B）、
大塚さん（前橋女子 C）



〈POI 賞〉

定方さん（前橋 A）、佐藤さん（前橋 B）、吉田さん（前橋女子 A）、
猪野さん（前橋女子 A）、柳さん（前橋女子 A）、滝沢さん（前橋女子 C）、
小林さん（高崎女子 B）



参加者の声（アンケートより抜粋）

生徒の声

- 楽しかったけれど、自分の思うようにできなかったので、もっと力がついたらさらに楽しくなると思った。【前橋女子】
- 女子に比べて男子の方が積極的に POI 出したりジャッジの人にたくさん質問していて、批判的に物事を考えたり好奇心をもったりしないと、色々なことを吸収できないなあと思いました。【前橋女子】
- エビデンスを用意する必要がないので、例示をして相手を納得させられれば良いので楽しかったし、即興で考えて英語で言うのは楽しかった。【前橋女子】
- 即興形をやるのは初めてで、慣れずに大変だったけど、すごく勉強になった。【前橋女子】
- 英語力も、知識もなかったから、全然上手に話せなくて、とても悔しかった。もっと練習したり、いろいろな知識を増やして、もっと堂々と上手に話せるようになりたいと思った。【前橋女子】
- 即興形は自分の能力を高めるためにすごくいいと思ったので、また練習会を開いてほしいと思いました。【前橋女子】
- 即興型英語ディベートを実際にやってみたのは初めてだったが、限られた時間で自分の頭を使って、論理的に思考し相手に使い伝えると言う経験は、大学受験にも生きてくる必要なものとなったと思う。【前橋女子】
- 最初は慣れず大変だったが、2回目、3回目は即興ならではの楽しさを知ることができた。【前橋女子】
- 学校の垣根を越えてさまざまな生徒と英語を通じて交流することができた。【前橋女子】
- 普段のディベートとは違い、決められたモノを読むのではなく、自分で考えて言えた【高崎女子】
- 相手の意見がうまく聞き取ることができなかったので、もっと単語を勉強すべきだなと思いました。【高崎女子】
- このディベートはいつものとちがって、社会に出て最も行う形式なのではないかなと思ったので、今後もやりたいなと思いました。【高崎女子】
- 英語力だけでなく、さまざまな知識が必要とされることがよくわかった。これからより広くアンテナを張ってさまざまなことを吸収していきたいと思った。【高崎女子】
- 上手く言葉にすることができなかったので表現力をもっと向上させたい。【高崎女子】
- 仲間と一緒に論題について話し合っただけで考え深められた。【前橋】
- 多くの考えを、他校の生徒や先生から学ぶことができたので、とても有意義だった。【前橋】
- 今回やってみて、ただ英語だけ上手ければ良いのではないんだなと感じました。またやる機会があるかどうかは分からないけれど、機会があればやってみたくと思いました。また普段から社会的な目を持って色々な知識を吸収していきたいです。【前橋】

○ 身近な論題から社会的な論題と幅広く、いろいろな考え方を身につけることができよかった。

【前橋】

○ ジャッジの皆さんが僕達にアドバイスをいただいたのでとても良い経験になった。【前橋】

教員の声

○ フローの書き方、実際のモデルディベート、4ラウンドの試合など、あらゆることを学べて勉強になりました。このような実践的な練習を積み重ねるだけで生徒が徐々に話せるようになるのが、よくわかりました。学校全体で取り組んでみたいです。初心者の生徒たちが楽しく話しているのを見て感激しました。続けていきます。【前橋女子】

○ 言いたいことを英語で言えないのがとても悔しそうでした。他の高校生が自信を持って話す姿に影響を受けて、今後の学習に励んでもらえることを期待しています。こんなに丁寧なジャッジコメントを一人一人にいただいた研修会は今まで無かったので、生徒も勉強になりました。【高崎女子】

○ 改めて即興ディベートの意義を確認し、生徒とも共有することができ、授業の中でもより積極的に採り入れたいと思う。【前橋】

